

IV 岩石や地層に関する次の問いに答えなさい。

1. 火成岩のつくりのちがいを調べるために 次の(a)～(d)の手順で実験を行った。

〈実験〉

(a) 約80℃の濃いミョウバンの水溶液をつくり、これをパトリ皿A、Bに同量ずつ入れた。

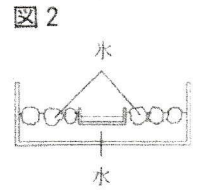
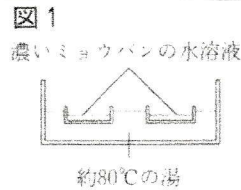
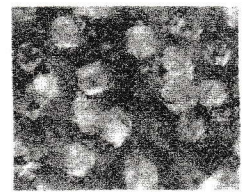
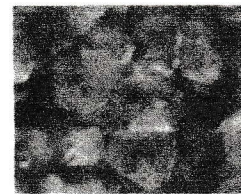


図3



パトリ皿A

パトリ皿B

(b) (a)のパトリ皿A、Bを、図1のように、約80℃の湯が入った水そうにつけた。

(c) 結晶ができてきたときに、図2のようにパトリ皿Bだけを氷水の入った別の水そうに移した。

(d) しばらく放置した後、パトリ皿A、Bにできた結晶(図3)を観察した。

(1) パトリ皿にできた結晶のようすを説明した文として適切なものを、次のア～エから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア. パトリ皿Aの大きな結晶は、ゆっくりと冷やされることで大きく成長したものである。

イ. パトリ皿Aの大きな結晶は、小さな結晶が結合したものである。

ウ. パトリ皿Bの大きな結晶は、急に冷やされることで大きく成長したものである。

エ. パトリ皿Bの小さな結晶は、急に冷やされて大きな結晶が割れたものである。

パトリ皿Aがゆっくり冷やされているのに対し、パトリ皿Bは急速に冷やされている。結晶の大きさのちがいは、冷や方のちがいによって生じることがわかる。

(ア)